

「肉用牛生産の拡大」の進捗状況

畜産課

○令和4年度末の進捗状況

- (1) 新たに2名が肉用牛生産に自営就農し、今後も12名が就農を希望しています。
- (2) 雌牛のゲノム能力評価を563頭行い、185頭の雌牛の更新・増頭を支援することで、県内雌牛群の改良は進み、肉質の遺伝的能力を評価する全ての指標が向上しました。

【ゲノム能力評価】遺伝子情報を解析し、産肉（肉質や肉量）能力を評価する方法

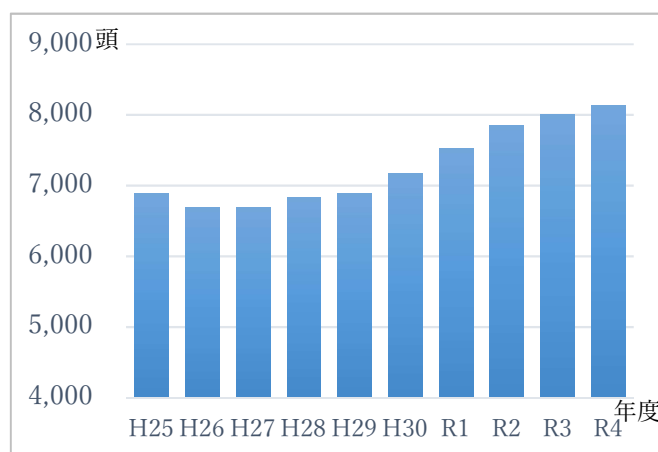
- (3) 歴代の県種雄牛の中で、トップクラスの産肉能力を持つ「正之助」「寿久」を造成しました。



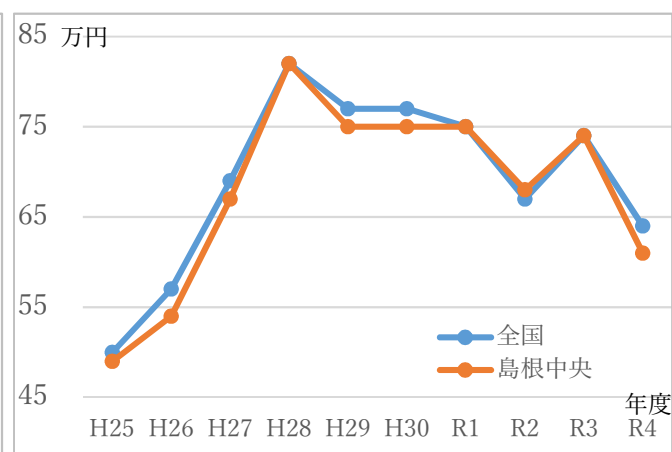
- (4) 第12回全国和牛能力共進会では、肉質評価の1位を獲得しました。また、この成果を活かし、しまね和牛の認知度向上・販路拡大対策を実施しました。

- (5) 雌牛の増頭を支援してきたことで、子牛生産頭数は令和元年度対比で618頭増加して8,140頭となり、子牛価格や牛肉の成績は、全国平均と同等でした。

【子牛生産頭数の推移】



【子牛価格の推移】



- (6) 島根県の肉用牛生産の特徴である“放牧”を拡大するため、約25haの放牧場の整備を支援しました。

また、購入飼料費高騰への対策として、県内飼料・堆肥生産流通支援事業を措置し、県内産飼料の生産拡大を支援しました。